

岡山県感染症週報 2012 年 第 40 週 (10 月 1 日～10 月 7 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年 第 40 週 (10/1～10/7) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 38 週 2 類感染症 結核 1 名 (50 代 男)
 5 類感染症 ジアルジア症 1 名 (20 代 女)
 第 39 週 5 類感染症 梅毒 1 名 (20 代 男)
 第 40 週 2 類感染症 結核 2 名 (60 代 男 1 名、70 代 女 1 名)
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O103: 幼児 男 1 名、児童 男 1 名)

■定点把握感染症の発生状況

- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、美作地域で患者の多い状態がつづいています。
 ○RS ウイルス感染症は前週とほぼ同数で、過去の同時期に比べ患者が多い状態です。

- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 40 週は 2 名の患者発生があり、2012 年の第 1～40 週までの累計報告数は 150 名になりました。岡山県は「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、より一層の注意を呼びかけています。例年の状況から、発生のピークの時期は過ぎたと考えられますが、今後もひきつづき予防対策を行うことが重要です。症状や予防法など、詳しくは岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!](#)』をご覧ください。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は、前週より増加しました (定点あたり 0.44 → 0.69 人)。特に、美作地域で 9 月から患者が増加しており (40 週定点あたり 3.00 人)、全体の約半数を占めています。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A 群 β 溶血性レンサ球菌 (溶連菌) という細菌による感染症で、突然の発熱と倦怠感、咽頭痛が出現し、口腔内に小点状出血あるいは莓舌が見られることがあります。乳幼児よりも、学期の小児に多い感染症です。
- RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数であり (定点あたり 1.04 → 1.00 人)、調査が始まった 2004 年以降の同時期と比較し、患者が多い状態で推移しています。発生状況や症状など、詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
- 風しん**は、全国統計で 9/27～10/3 の一週間に 69 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 10 月 3 日までに 1,738 名になりました。昨年 1 年間の累積報告 (371 名) と比較して、4.7 倍になっています。地域別では、近畿地方・関東地方・東海地方で患者増加がつづいています。発生の中心は 20～40 代の成人男性であり、この年齢層で全体の 62% を占めています。4 月から始まった流行は依然として継続しており、今後も動向に注意が必要です。

岡山県では、2012 年はこれまでに 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。

([全国風しん発生動向調査国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RS ウイルス感染症	→	★★★
咽頭結膜熱	→	★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★
感染性胃腸炎	↘	★★	水痘	→	★
手足口病	→	★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	↗	★★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↓	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→	★	クラミジア肺炎	→	

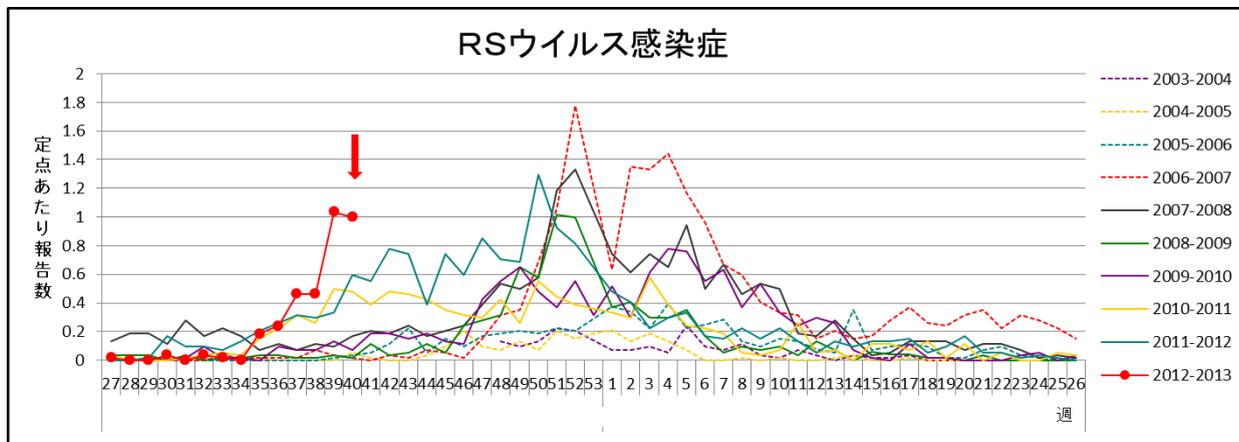
【記号の説明】

前週からの推移：
↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1～2倍未満の減少 → : 1.1未満の増減
↗ : 1.1～2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い
 ※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. RSウイルス感染症

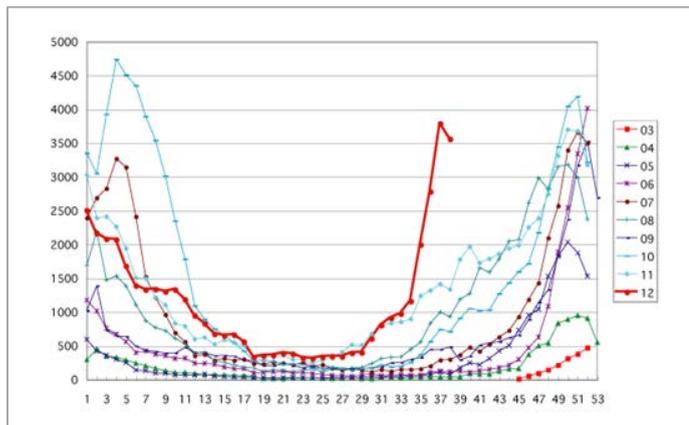


※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年27週～翌年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

RSウイルス感染症は、前週とほぼ同数で（定点あたり1.06 → 1.00人）、2004年の調査開始以降の同時期としては最も患者が多い状態が続いています。患者は乳幼児が中心であり、2012年第27～40週における累積報告数の年齢別割合は、0歳が45%、1歳が39%、2歳が7%となっています。

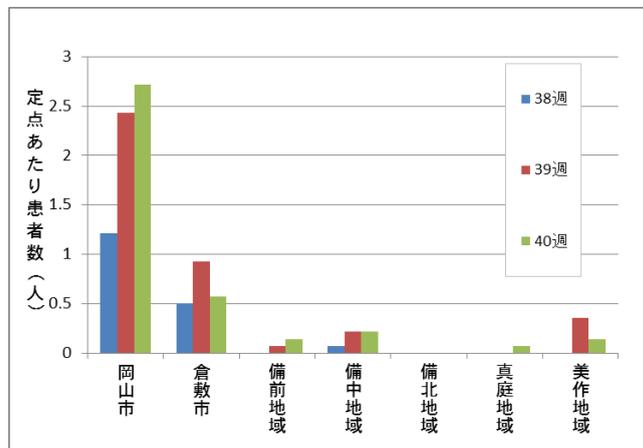
地域別では、岡山市（定点あたり2.43 → 2.71人）で患者が増加し、患者全体の70%を占めています。全国でも、第35週以降急激な増加を見せており、今後の動向に一層の注意が必要です。

全国RSウイルス感染症 過去との比較グラフ 第38週



（国立感染症情報センター HPより）

岡山県 RSウイルス感染症地区別発生状況



【RSウイルス感染症とは】

RSウイルスによる乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症です。流行の中心は1歳以下の乳幼児で、乳幼児の肺炎の50%、細気管支炎の50～90%を占めるとされています。2歳までに、ほぼ100%の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、年齢を問わず、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ、重症化することが少なくなります。そのため、大人がかかっていることに気がつかず、子供にうつしてしまうこともあります。（[国立感染症研究所 感染症の話「RSウイルス感染症」](#)）

潜伏期は2～8日で、発熱、鼻汁、咳などで発症し、軽症の感冒様症状から、重症の細気管支炎や肺炎などの下気道疾患に至るまで様々です。通常8～15日で軽快しますが、初めてかかる乳幼児では、しばしば肺炎や細気管支炎を発症します。1歳以下、特に生後6ヶ月以下の乳幼児では、無呼吸や急性脳炎などの重い合併症を引き起こすことがあり、入院を要することもあります。

RSウイルス感染症は、症状の重症化や合併症から、特に乳幼児期において非常に注意が必要です。お子さんの体調が悪い時は、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2012年 40週 (2012/10/01～2012/10/07)

2012年10月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	54	1.00	38	2.71	8	0.73	2	0.20	3	0.43	-	-	1	0.50	2	0.33
咽頭結膜熱	3	0.06	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	6	0.43	11	1.00	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	18	3.00
感染性胃腸炎	170	3.15	43	3.07	31	2.82	57	5.70	9	1.29	5	1.25	6	3.00	19	3.17
水痘	28	0.52	4	0.29	10	0.91	7	0.70	4	0.57	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	9	0.17	5	0.36	1	0.09	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	31	0.57	18	1.29	4	0.36	4	0.40	-	-	-	-	1	0.50	4	0.67
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	0.44	13	0.93	3	0.27	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	8	0.15	3	0.21	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	-	-	1	1.00	-	-	-	-	3	3.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 40週 (2012/10/01～2012/10/07)

2012年10月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	0.06	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	6	0.43	11	1.00	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	18	3.00
感染性胃腸炎	170	3.15	43	3.07	31	2.82	57	5.70	9	1.29	5	1.25	6	3.00	19	3.17
水痘	28	0.52	4	0.29	10	0.91	7	0.70	4	0.57	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	9	0.17	5	0.36	1	0.09	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	0.44	13	0.93	3	0.27	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	8	0.15	3	0.21	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.58	4	0.80	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第40週 2012/10/01~2012/10/07)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

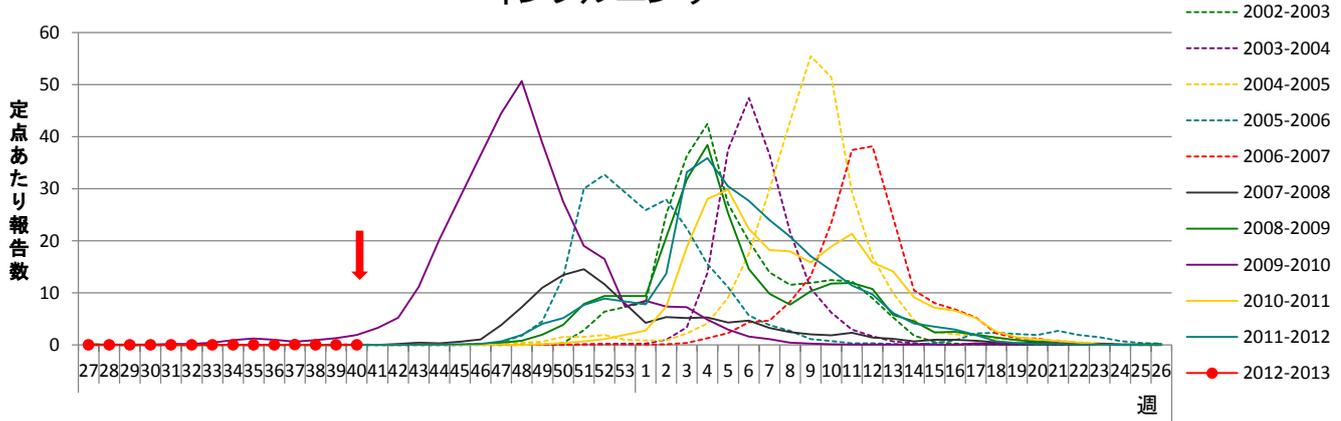
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	54	14	10	20	4	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	-	1	3	1	4	6	2	5	1	6	1	6	-	1
感染性胃腸炎	170	9	28	27	10	12	14	8	5	3	8	4	16	11	15
水痘	28	1	3	6	7	1	2	2	1	1	2	-	2	-	-
手足口病	9	-	1	2	2	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	31	-	15	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	-	1	6	3	4	2	-	2	-	1	-	2	-	3
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	1	1	-	2	2	-	-	1	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	2

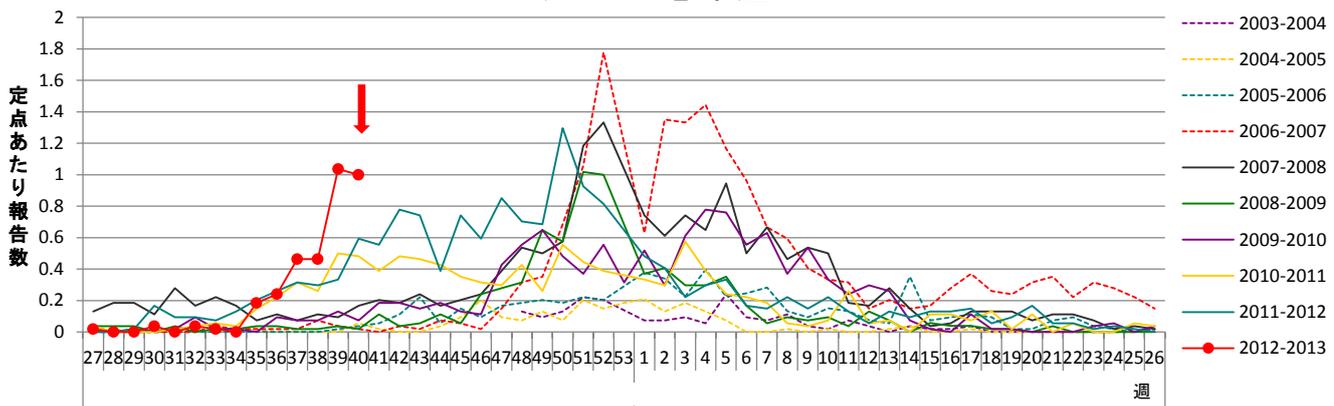
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

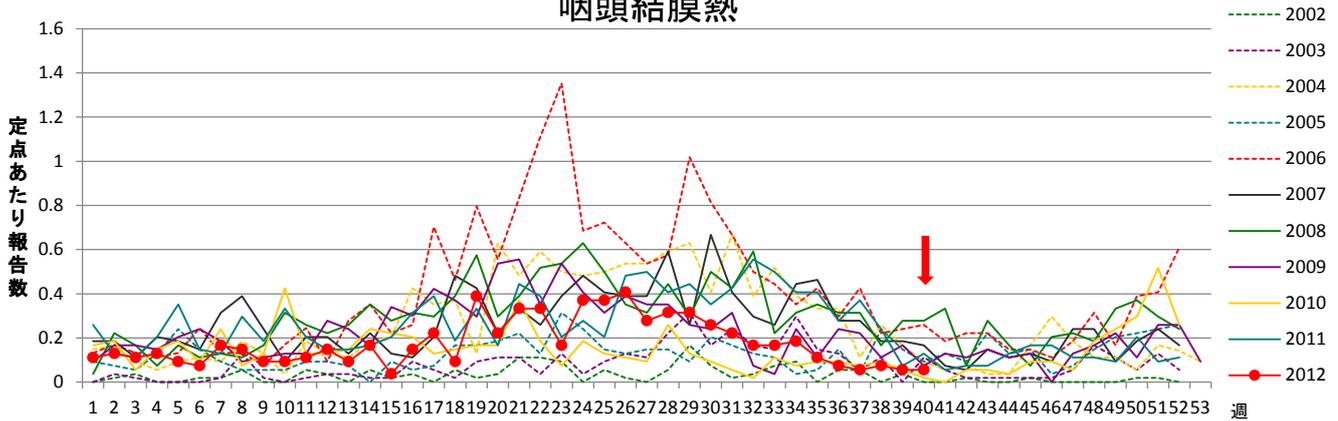
インフルエンザ



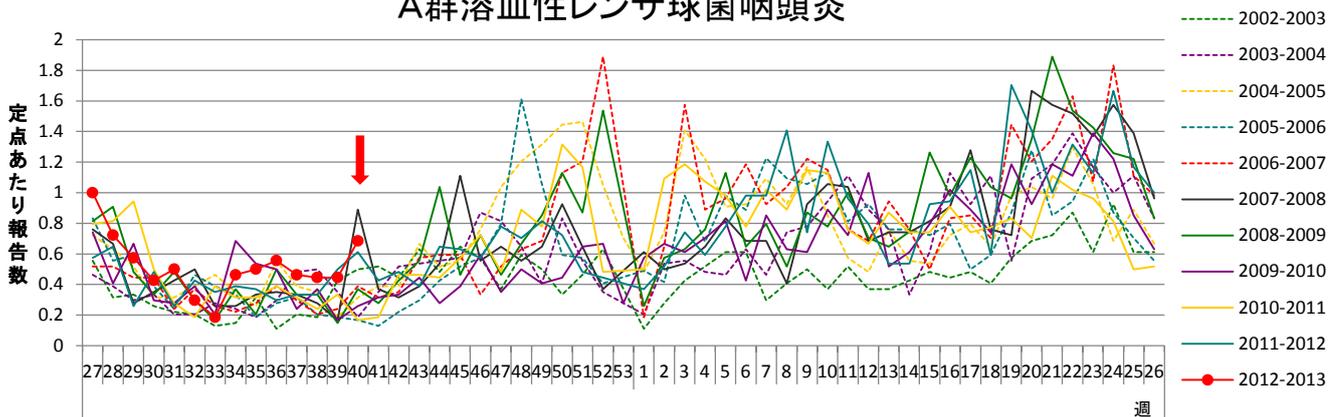
RSウイルス感染症



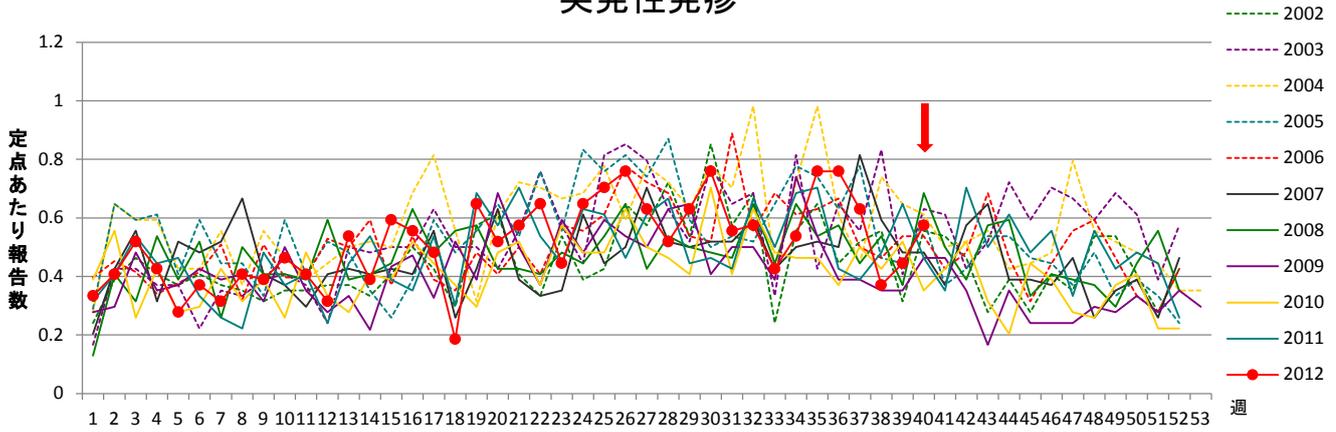
咽頭結膜熱



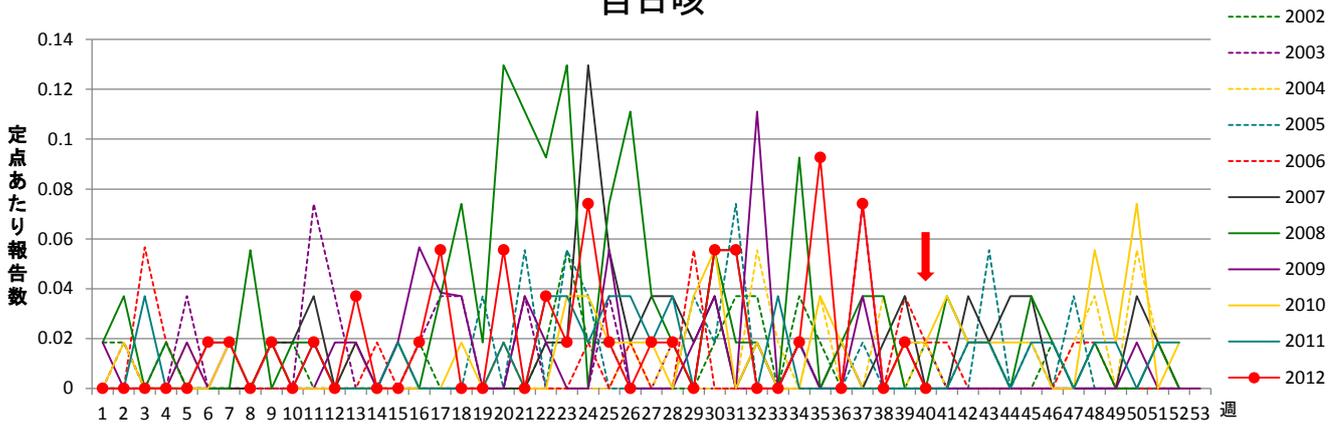
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



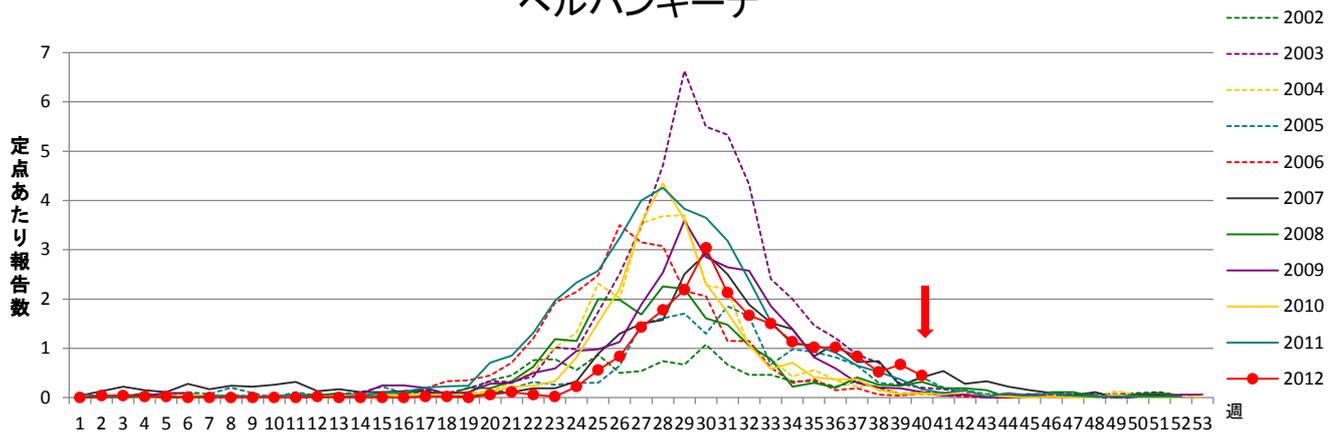
突発性発疹



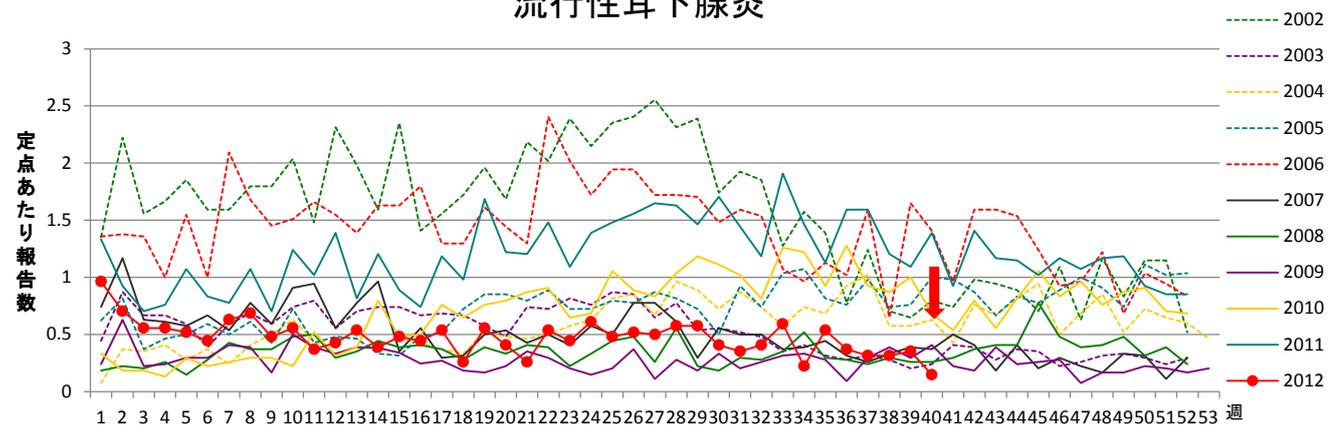
百日咳



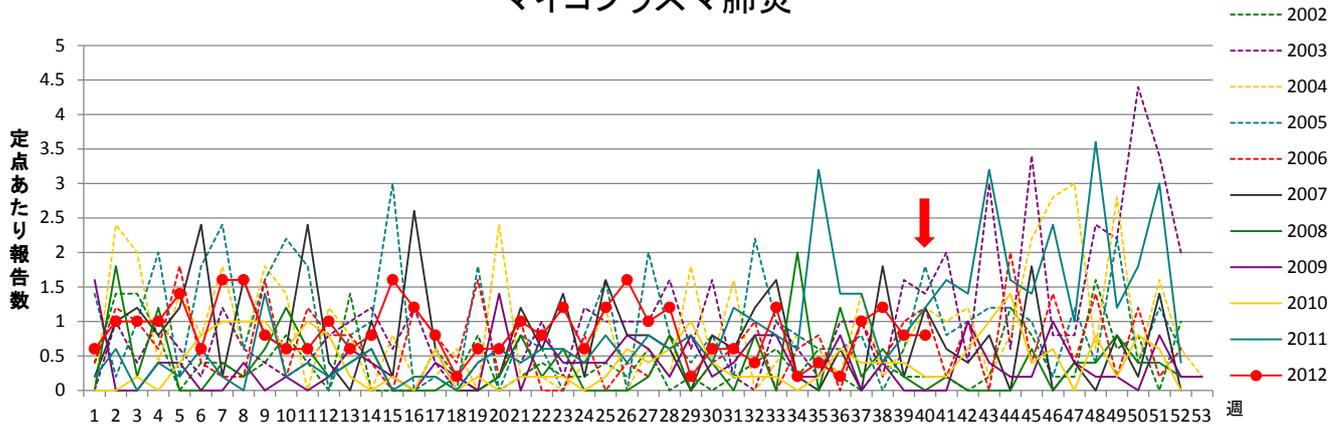
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

